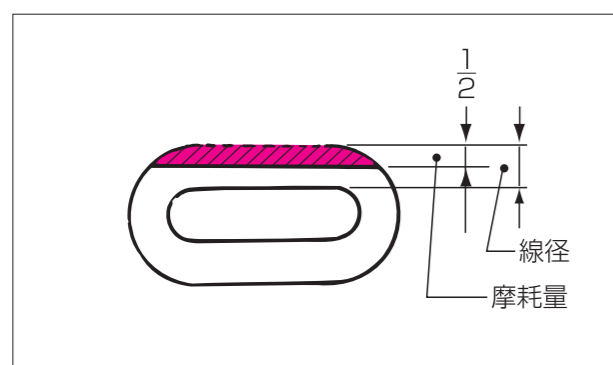


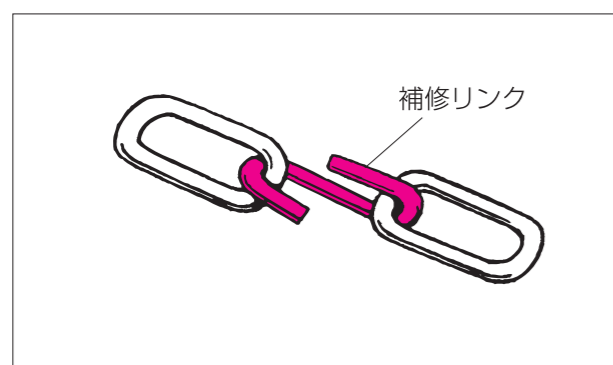
5 使用限度・保管方法その他



1. 使用限度について

使用後のクロスチェーンの破損の有無、摩耗量を確認してください

- 1ヶ所でも破損があったり、摩耗量が線径の半分近くになれば寿命です。早めに新しいチェーンをお求めください。



2. 補修リンクについて

●走行中クロスチェーンが切れた場合は、一時的に添付の補修リンクで結んでください。使い方は切れたリンクの両端を補修リンクで結び、閉じずにそのままお使いください。

●補修リンクはあくまで一時的なものです。次回からは使用しないで、新しいチェーンと取替えてください。

3. 保管方法、その他について

●長時間使用しない時は、水洗い後乾燥させます。そして防錆油などをうすく塗って、乾燥した直射日光の当たらないところに保管してください。

●使用後はケーブルを二重巻にして、ネジレ防止のためサイドチェーンの両端を結び、ケースに入れてください。

●ご自身で修理することは絶対に避け、新しいチェーンと取替えてください。

・誤った取付け方法および使用方法による事故、故障については、一切責任を負いません。
・仕様は、予告なしに変更することがあります。

CHUHATSU
中発販売株式会社

〒457-0066 愛知県名古屋南区鳴尾2丁目114番地 TEL052-614-3653

ONE TOUCH TIRE CHAINS 雪道楽RV

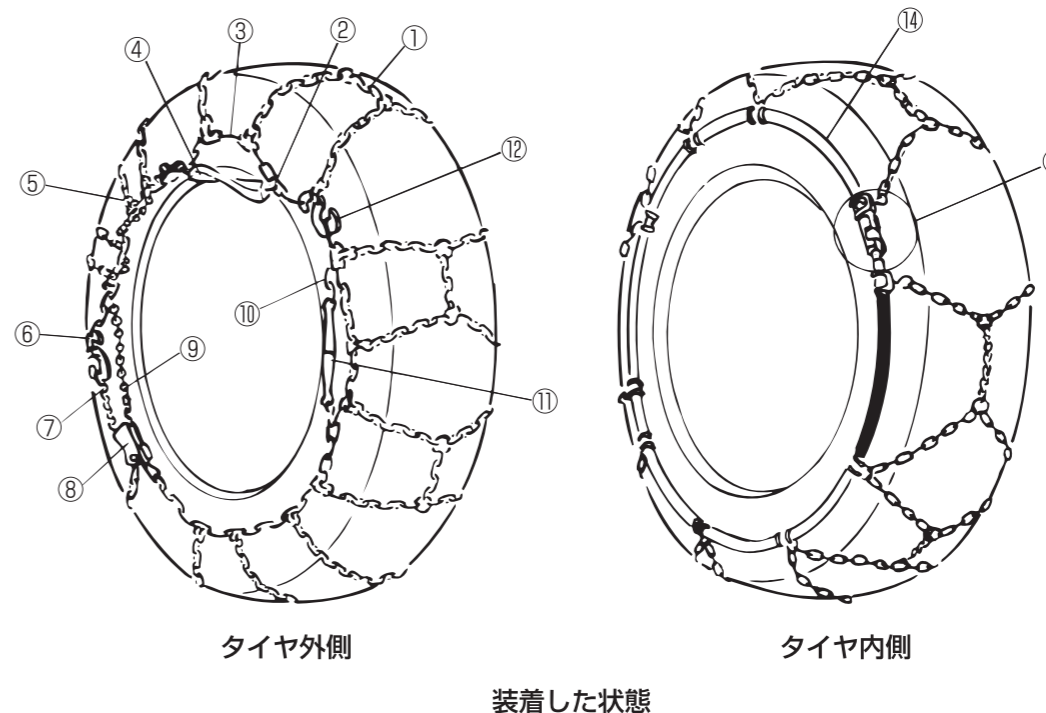
ワンタッチ型タイヤチェーン・雪道楽RV取扱い説明書

このたびは、ワンタッチ型タイヤチェーン・雪道楽RVをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、常に正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

1 セット内容と各部の名称

このセットは以下の内容で構成されています。使用前に必ず、お確かめください。

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. チェーン本体 2本 (同じもの) | ①クロスチェーン ②かぎフック ③サイドチェーン |
| 2. 手袋 1ペア | ④ゴム ⑤コネクター ⑥連結フック |
| 3. 補修リンク 2ヶ (同じもの) | ⑦丸環 ⑧滑車 ⑨リードチェーン ⑩調整リンク |
| 4. 余りリンク止め 2ヶ (同じもの) | ⑪余りリンク止め ⑫ジョイントフック |
| 5. 取扱説明書 1部 | ⑬ケーブル接続部 ⑭ケーブル |



⑧

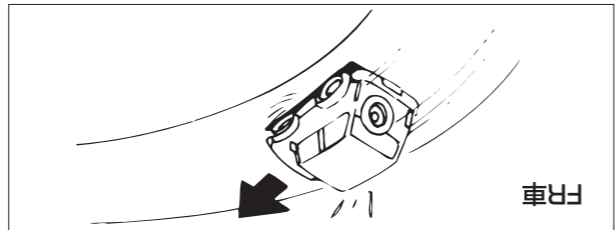
③

●**注意** 乾路等での走行はチェーンの摩耗が早くなり、早期切断の原因になるばかりか、走行性能も低下します。

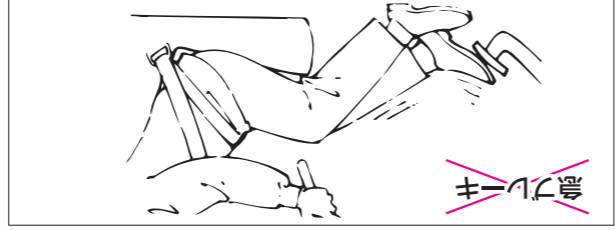
●**注意** チェーンを装着したままタイヤを高速回転させるとチェーンが切断し、車輪をキズ付けることがあります。

●**その他** (5) スタック (立ち往生) した時は、むやみに高速回転させないでください。

●**警告** 上りカーブを運転する時にスリップを出し過ぎると、車両の走行安定性が損なわれやすくなり、危険です。路面状況に合ったスピードで、スリップを踏まずに一定速度で走行してください。F R車は後輪が横すべりし、ハンドルを切った以上以上に車輪が曲がることとなります。また、F R車は前輪が横すべりし、通常ハンドルを切った程度には車輪が曲がることとなります。



●**警告** (4) 坂道を運転する時には、急ブレーキはスリップをおこしやすくなり、車両の走行安定性が損なわれ、事故につながる危険があります。



●**警告** (3) 停止する時には、急ブレーキは絶対に避けてください。

●**警告** (2) 通常走行の時には、急な減速は避けてください。

●**警告** (1) 発進する時には、急発進は絶対にしないでください。タイヤが空転し、かえってスリップを生じさせてしまいます。場合によっては、チェーンが滑り、車両の方向が傾き、真直ぐに進まないことがあります。

●**警告** (2) 通常走行の時には、チェーンを装着した時は必ず50km/h以下で走行してください。路面状況 (凍結路等) に応じ安全のため30km/h程度、場合によってはそれ以下に減速して走行してください。

●**警告** (3) 停止する時には、急ブレーキは絶対に避けてください。

●**警告** (4) 坂道を運転する時には、急ブレーキはスリップをおこしやすくなり、車両の走行安定性が損なわれ、事故につながる危険があります。

①

②

●**注意** チェーン装着後、100m程度試走を行って、必ずもう一度締め直してください。

●**注意** チェーン装着ができた場合は、正しい装着ができていません。直ちに停車して、リードチェーンを正しく締め直してください。そのまま走行すると、車輪をキズ付けることがあります。

●**注意** タイヤチェーンを装着して走行すると、ホイールカバー、アルミホイールあるいはタイヤサイド面をキズける場合があります。必ずホイールキャップは、外してご使用ください。

●**注意** チェーン装着場所は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

●**注意** チェーン装着後は、他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

2 使用前の注意事項

●**警告** 本文中の警告、注意、注釈、マスの文章は以下のようになっています。間違いないように作業を行ってください。
●**警告** 人身にかかわる、大切な作業項目です。間違いないように作業を行い、チェーン装着後も安全運転を行ってください。
●**注意** エンジンやタイヤ、ホイールなどに、キズを付ける原因になります。手順に従って、正しい作業を進めて下さい。

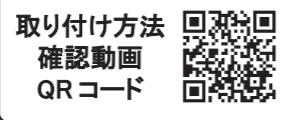
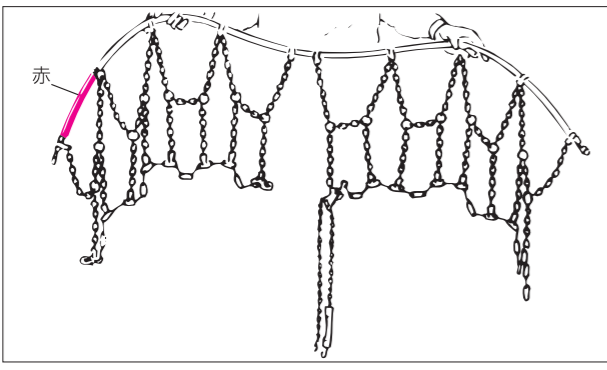
2

4 タイヤチェーン取付け方法 (取外し方法)

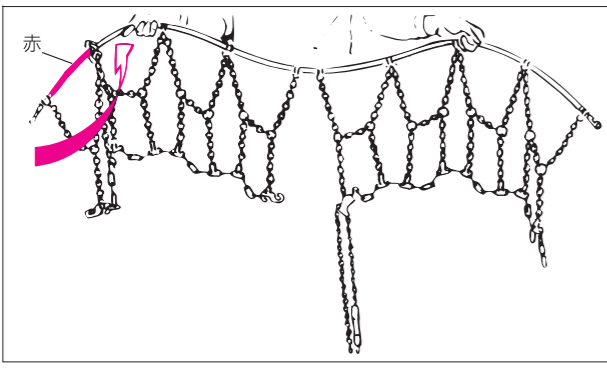
●チェーンの取扱いには、ケガ、汚れ防止のために手袋を使用してください。

1. チェーンのネジレを確認

ケーブルを図のように、赤色のビニールパイプが右側にくるように持ち、チェーンにネジレがないことを確認します。

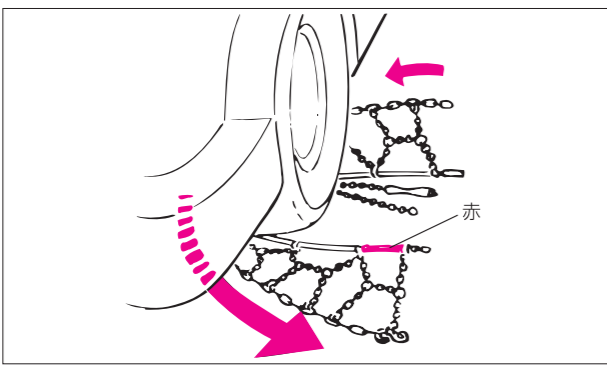


●ネジれている場合は図のようにチェーンがからんだ状態になります。矢印のようにケーブルをくぐらせると元に戻ります。
●リードチェーンがからんでねじれていることがありますので、必ず使用前に直してください。からんだままでは、取付けられません。



2. 取付け

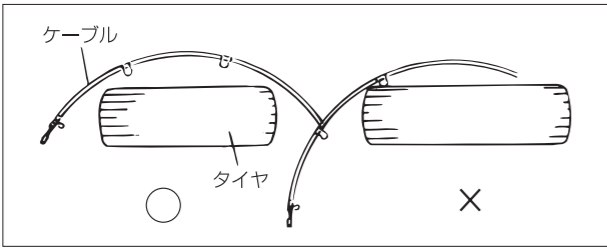
(1) ケーブルの接続部を開いて、赤色のビニールパイプの方を先にして、タイヤの下部右側から、タイヤの裏側へくぐらせます。ケーブルがタイヤに対して左右均等になるように置き、チェーンがからまないよう整えます。
●赤色のビニールパイプの方を左側からくぐらせると、チェーンが裏付けとなります。



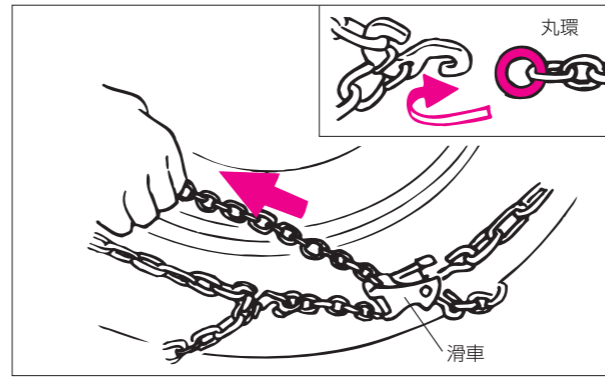
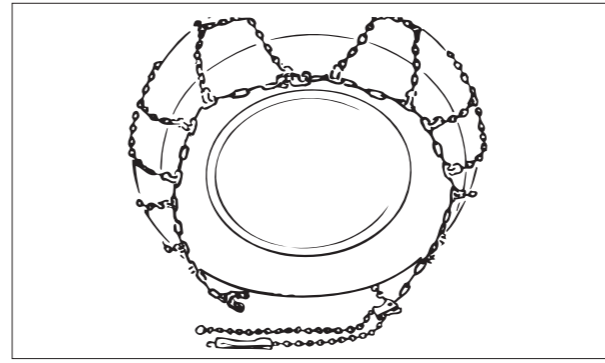
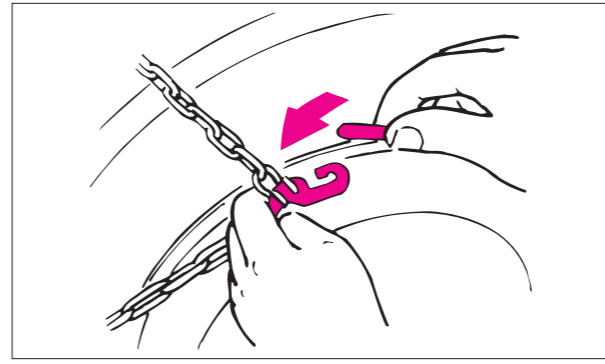
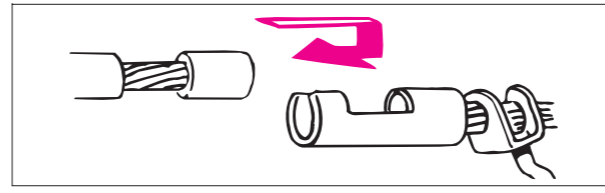
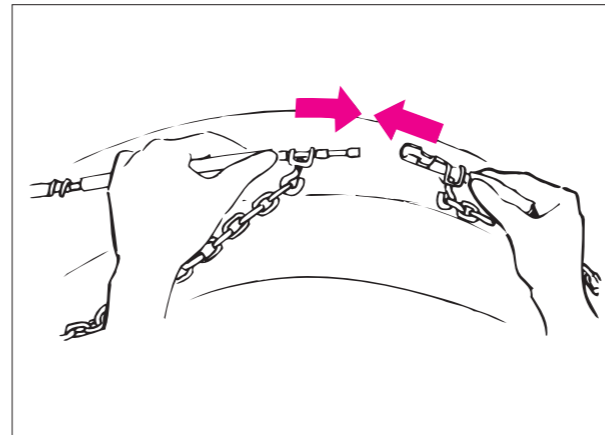
▲注意

裏付けになると、運転の仕方によっては**タイヤ表面にキズ**を付けることがあります。

●ケーブルがタイヤに対して、左右均等でないと作業がやりにくくなります。



(上から見た図)



(2) ケーブルの接続部の両端を持って広げながら持ち上げ、タイヤの上部で接続部を連結します。
●クロスチェーンが内側に落ちることがありますので、連結したらずぐにクロスチェーンを持ってください。
●クロスチェーンが内側に落ちた場合は、フェンダー部とタイヤのすき間に手を入れ、ケーブルを持ち上げて接続部を外します。そして取付けをやりなおしてください。

●入れて (挿入) から、反対方向に引く。

(3) クロスチェーンを手前に持ってきて、右側のサイドチェーンと左側のジョイントフックを連結します。次にケーブルを内側に落とし込みます。
●ねじれていないことを確認して連結してください。
●右側サイドチェーンの調整リンクは、確実に引かれる位置で連結してください。
●サイドチェーンの「調整リンク」使用方法
タイヤサイズ表示が同一でも、タイヤメーカーや銘柄、およびノーマルタイヤ・冬タイヤ等により大きさが異なる場合がありますので「調整リンク」を使用して正常な取付け状態にしてください。

(4) かぶり深さが均一になるように整え、サイドチェーンの下部開口部をタイヤの真下に合せます。(ジョイントフックが、タイヤの上部にくるようにします。)

▲注意

下部開口部が**タイヤの真下になっていない**と、ゆるめ装着になります。**ゆるめ装着はチェーンが車輻に当たったり、クロスの早期切損等**チェーン故障の原因になります。

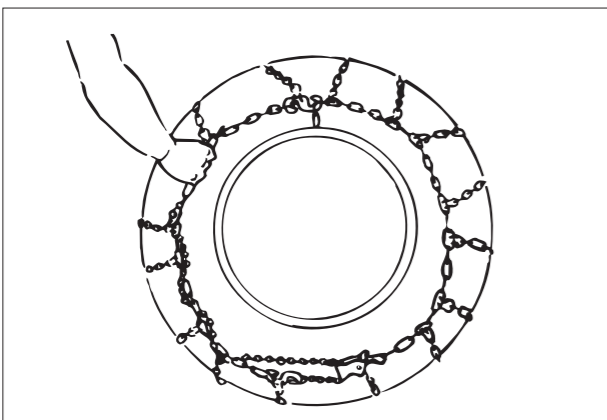
(5) 滑車に通してあるリードチェーンの丸環を、連結フックと結びゴムのついた側からリードチェーンで強く締付けます。
●リードチェーンが結べない場合は、(3)の調整リンクをゆるめてください。

▲注意

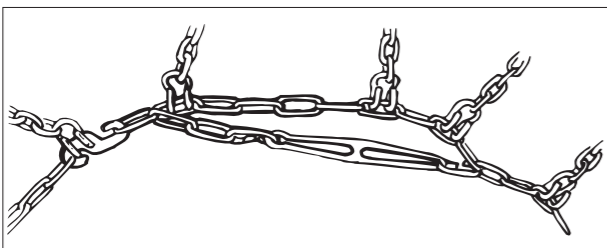
リードチェーンを持って締付けるとき、リードチェーンの丸環と滑車の間のリードチェーンのネジレがないようにしてください。滑車を破損することがあります。

④

⑤



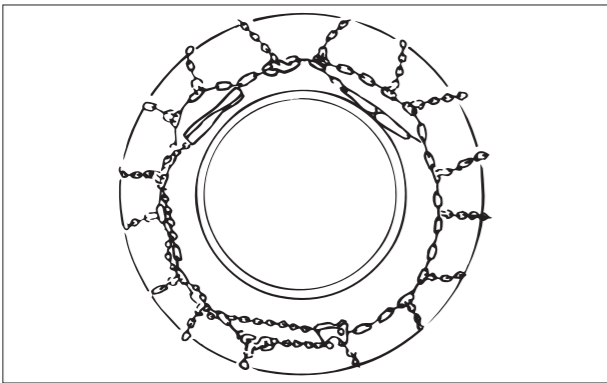
(6) リードチェーンをサイドチェーンの各真中の所に1回づつくぐらせてゴム先端かぎフック部を引張ってサイドチェーンに掛けます。



(7) (3)の調整リンクが余った場合余りリンク止めで固定してください。

▲注意

余りのリンクは余りリンク止めで固定してください。固定しないまま走行すると車輻に当たってキズ付けることがあります。



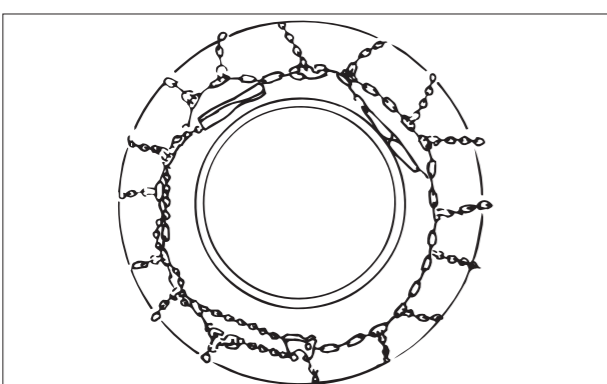
3. 取付け状態確認

(1) チェーンの掛かりがタイヤに対して片寄りがないことと、コネクター・ケーブル・サイドチェーンが路面接触していないことを確認します。
●タイヤリムとケーブルあるいはサイドチェーンが図のような同心円状になっていることを確認します。

▲注意

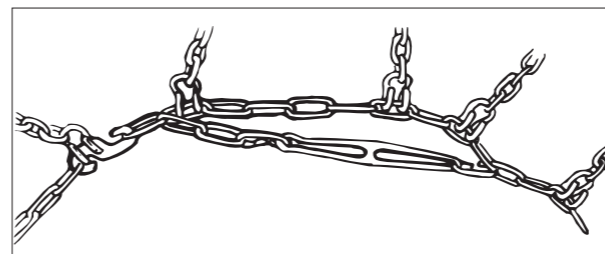
片寄ったまま走行すると**チェーンが外れたり車輻に当たる**場合があります。また、**チェーンが切れやす**くなります。

(2) 内側のケーブル、接続部、コネクター、クロスチェーンがブレーキ、車軸など車体に接触していないことを確認します。

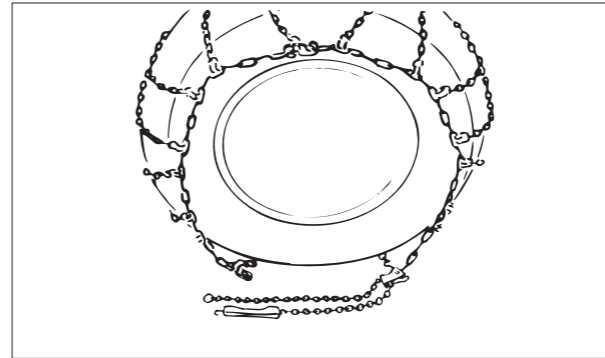


4. 取外し

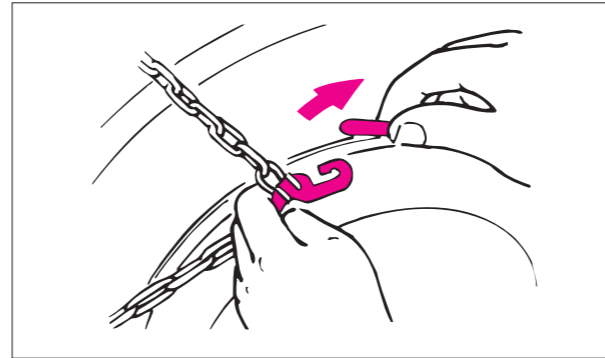
(1) ジョイントフックが、タイヤの上部に (リードチェーンの滑車部分がタイヤの下部に) くるように車輻を止めます。



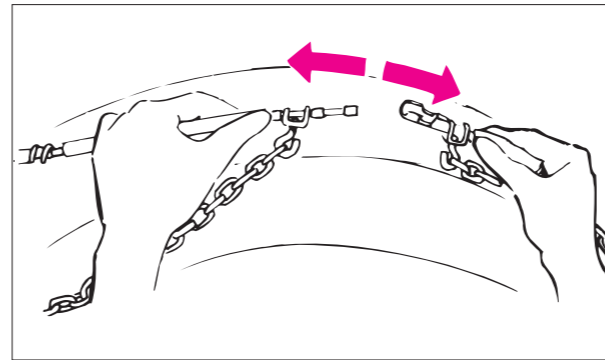
(2) 余りリンク止めを外します。



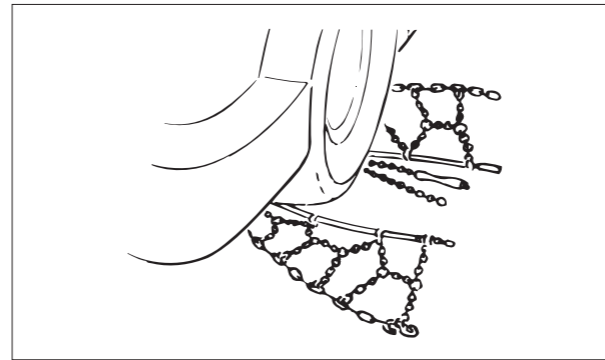
(3) ゴム先端かぎフックを外し、リードチェーンをサイドチェーンより外し、次に滑車のノブを押しリードチェーンをゆるめます。連結フックを外し、サイドチェーンをゆるめます。



(4) ジョイントフックを外します。その際、チェーンがタイヤ内側に落ちないように注意してください。



(5) フェンダーとタイヤのすき間に手を入れて、ケーブル接続部を外して、ケーブルを左右に開きながらタイヤ上側から引出します。



(6) ケーブルが地面に対して平になるようにした後、クルマを静かに移動して、外し作業は完了です。

▲注意

滑車・ケーブル接続部を踏まないように注意してください。踏むと破損することがあります。

⑥

⑦